



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第2号 (H22.4.23)

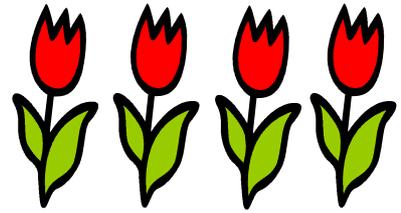
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん
質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



家庭学習の習慣化を！

ある雑誌に「学力トップの秋田県の教育の秘密」という特集が組まれていました。目を通して見るとおもしろいことが書かれていました。秋田県は、小学校6年生で学習塾に通っていない児童が80%（全国55%）、家庭学習やテレビ等の視聴時間は全国なみ、ただ際立って違うところは、家庭で予習をしている児童が約75%（同約50%）と高い数値を示していることです。中学校では学習塾に通っていない生徒は約67%（同約40%）、予習をしている生徒は約36%（同約30%）、復習をしている生徒が約63%（同約39%）でした。このことから予習や復習などの家庭での学習習慣の定着が、学力の定着に大きく影響しているのではないかという見方がされています。秋田県下の各市の教育長さんは、自慢できることとして「勉強する時間を決めて実行している子どもが多いこと」「復習を一生懸命やっている子どもが多いこと」を挙げておられます。家庭学習の定着には何年もかかったそうです。

さて、附属中では、「泉ヶ丘学習サイクル」の定着を進めています。「泉ヶ丘学習サイクル」とは、朝の読書を終えて授業に臨み、授業で学んだ内容は放課後のSETで確認するとともに、発展的な内容を学習し、家庭での学習で一層理解を深め、翌日の学習に備えます。この「**思索の時間**」→「**授業**」→「**SET**」→「**家庭学習**」→「**思索の時間**」という流れを「泉ヶ丘学習サイクル」と呼びます。このサイクルを継続することで目標実現へ確実にステップアップしていきます。

附属中では、確実な「泉ヶ丘学習サイクル」の定着を図って参りますのでご家庭でも家庭学習の習慣化についてのご指導をお願いしたいと思います。特に、「**勉強する時間を自分で決めて実行する**」というところが鍵かもしれません。学習時間の目安は、秋田県では「**学年×10分+10分**」を目標として実施されたそうです。中学1年生は7年生として考えて、80分だそうです。自分に合った学習時間を分で設定し、根気強く取り組んでほしいと思います

「新たな私」

昨日までは ただの私
しかし 今日からは目標に向かって
自ら光を放ち 自らの足で力強く
望みに向かってかける附属中生としての私
そう ただの私から自立した私へ
この気持ちの変化が 行動を起こし
新たな私をつくりあげる



初々しく……

宿泊体験学習に行ってきました！

4月19日（月）20日（火）21日（水）、新入生40名が宿泊学習に元気に行ってきました。御池青少年自然の家までは、バスで行きました。附属中に入学して8日しかたっていないにもかかわらず、協力学習が進んでいました。1日目御池ハイキング、2日目は飯ごう炊飯キャンドルファイヤーと、楽しい活動を通して友だちづくりが着々と進んでいました。

新入生のみなさん、教職員全員で歓迎するとともに応援します。これから附属中での一員として、ともに大きく成長していきましょう。



<御池ハイキング>



<キャンドルファイアー>



<天体観測：古園先生の講義>



<西高附属中との交流>



<レクリエーション>

特集

お子様への関わり方のヒント② 「承認」

「承認」とは、お子様のことを認めることです。承認する対象は、結果と結果に到るまでの過程や成長です。お子様の活動の中には、良い活動をしたにも関わらず結果に表れないことがあります。そのようなときは、良い活動を承認することが大切です。このことにより、お子様は、自分の考えや行動に自信をもち、自発的な活動を積極的に行うようになります。

承認の3つのメッセージの方法

1 「YOU (ユー) メッセージ」

「あなたは、〇〇ができた。」「あなたが、頑張った」というように、メッセージの主体が「あなた」となるメッセージです。

YOUメッセージによる承認の効果は、メッセージをお子様を受け入れた場合はよい効果を生みますが、「そんな大袈裟なことはない」と否定した場合には、効果はなくなってしまいます。



2 「I (アイ) メッセージ」

「あなたが、〇〇したことで、私は、嬉しい」というように、「私」のメッセージをいれるものです。私が……嬉しいというメッセージは、お子様が否定的な受け取り方は起こしません。お子様の立場では、達成感や充実感をもてる効果的なメッセージといわれています。

3 「WE (ウィ) メッセージ」

「家族みんなが、〇〇で良かった」というメッセージで、主体が「組織 (全体)」となるメッセージです。WEメッセージは、Iメッセージ以上にお子様は達成感や充実感を得やすいメッセージとされています。

<承認のポイント>

- 1 心から褒めましょう。
- 2 結果だけでなく、過程を大切にしましょう。
- 3 小さな事柄にも目を向けましょう。
- 4 言葉で表現することが大切です。しかし、優しい笑顔や丁寧な対応、手紙などで示すこともできます。